

これまでの経緯について

【統合準備委員会】

第1回・・・平成29年7月26日〔会場＝赤羽根市民館：会議室〕

①委員長の選出	山内敏久委員
②副委員長の指名	柴田陽助委員
③専門部会長の任命	総務部会・・・山上高弘委員 P T A 部会・・・伊藤正徳委員 学校運営部会・・・伊藤正徳委員 通学・安全部会・・・伊藤康弘委員
③今後のスケジュール	各専門部会における、平成32年度までの年間スケジュールを説明。

【専門部会『学校運営部会』】

第1回・・・平成29年12月20日〔会場＝赤羽根中学校：図書室〕

・平成29年度交流事業について	今年度実施した交流行事報告 ・H29.10.19 合同合唱祭 ・H29.12.8 合同長距離走駅伝大会
・年間行事、日課表の比較について	①年間行事の比較 ・合唱祭、長距離駅伝大会は両校同時期開催。来年度も合同開催予定 ・部活動での練習試合など増やしていけるようなことを進めていきたい。 ②両校の日課表の比較 ・冬季の日課に少し違いあり。
・服装、持ち物、校則等比較について	・下校の時間は日没30分前 ・現在の服装は両校とも、男子は学生服、女子はセーラー服（リボンの色の違いはあり）
・検討事項	①統合後の服装、鞆、上履き <u>原則</u> 統合される平成33年度の新1年生からは、服装や鞆等についても同じものにするのが好ましい。そこから3年間かけて統一していけたらよい。それまでは、基本として混在しても構わないとしていく。

	<p>・制服、ジャージについては赤羽根中のものを基本とするが、詳細は両校で協議していく。ただし、夏のジャージは赤羽根中のものは生地が厚く、暑いという声があるため、泉中のものを参考していく。</p>
	<p>②部活動の運営</p> <p>《現在の部活動》</p> <p>赤羽根中（男子）野球、剣道、バレー、ブラスバンド （女子）バレー、ソフトボール、ブラスバンド</p> <p>泉中（男子）野球、バスケットボール、文化部 （女子）バレー、ソフトテニス、文化部</p> <p>◎統合当時は教員定数が2名増えるが、その後は生徒数も減り、教員数も元に戻るため、部活動は安易に増やせない。</p> <p>◎泉中のみにある、男子バスケット部と女子ソフトテニス部をどうするかが課題。</p> <p>今後も検討をすすめていく。</p>

【専門部会『PTA部会』】

第1回・・・平成30年2月14日〔会場＝赤羽根中学校：図書室〕

<p>・PTA会則等の比較</p>	<p>主な相違点抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機関（赤羽根）総会、理事会、支部会 （泉）総会、常任委員会、専門委員会 ・会計（赤羽根）5月に1年分を納入 （泉）5月と10月に半期分ずつ納入 ・最初の理事会（常任委員会）の開催日 （赤羽根）4月（泉）3月 ・会費の額（赤羽根）3,000円（250円/月） （泉）3,600円（300円/月） ・総数（赤羽根）21名（泉）15名 ・赤羽根には支部長（3名）あり。
<p>・検討事項</p>	<p>①役員・理事（専門委員）の総数 （案）・役員総数21名 内、赤羽根12名、泉9名 ※男女比は1：1を基本とする</p>
	<p>②PTA会長の分担</p>

	(案)・赤羽根と泉が隔年で担当。統合時のH33年度は赤羽根が担当
	③会長以外の役割の割振り (案)・役員の割振りは現赤羽根の割振りと同様。 ・支部長も残す(赤羽根3名、泉1名)とする。 (各地区代表。兼務可) ・男女比も赤羽根と泉でバランスよく配置する。
	④委員会組織 (案)・委員会は現赤羽根の4つとする。 ・会長は市P連で動くことも多いため、委員会所属から外す。 ・委員会委員長は赤羽根と泉隔年で担当
	◎地区割りや、人数等の原案を来年度以降示していけるようにする。

【専門部会『通学・安全部会』】

第1回・・・平成29年11月27日〔会場＝泉市民館：和室〕

・遠距離通学の基本方針について説明	・泉中及び赤羽根中校区図をもとに、通学路としての路線を検討。
	・平成33年度における泉中の生徒数見込みを説明。
	・スクールバス通学時のルート検討。